

◎おがのまち 議会だより

第56号

令和元年11月1日発行

発行/小鹿野町議会
編集/議会だより編集委員会
埼玉県秩父郡小鹿野町小鹿野89番地



Contents

9月定例会	2～6
意見書	6
審議結果一覧・一般質問一覧	7
一般質問（4名の議員の質問を掲載）	8～9
議長交際費・フォトニュース	10

今年もダリア園が9月1日から開園し、多くのお客さんが訪れています。

写真は雨により水滴を浮かべ誇らしげに咲いているダリアです。（撮影日9月11日）

平成30年度 一般会計・特別会計・事業会計 決算認定

第3回9月定例会

会期9月3日～9日

本議会では、平成30年度一般会計等の決算認定をはじめ、条例の新設、一部改正、補正予算、人事案件など町長提出議案26件、議員発議1件等が上程されました。慎重審議のうえ、すべての議案を可決しました。

また、町政に対する一般質問では、5人の議員が登壇し、町政発展に向けての活発な議論がなされました。（一般質問は、8頁～9頁に掲載しています。）



代表監査委員による決算審査報告の様子

一般会計・特別会計決算

一般会計の歳入は、前年度に比べると、評価替えを行った固定資産税の減額、臨時福祉給付金事業の終了による国庫支出金の減額、さらに地方交付税交付金も町村合併に対する加算分の減少等により減額となりました。

一方、産地パワーアップ事業への取組等に対する県支出金が増額し、また地方消費税交付金と諸収入は増額となりました。

それらの結果、対前年度比179万6000円増の71億9340万円となりました。

歳出では、人件費の減額等で、義務的経費は減少し、また投資的経費、その他の経費もそれぞれ減額となり、対前年度比6057万円減の66億9938万7000円となりました。

この結果、翌年度に繰り越すべき財源440万円を差し引いた4億8961万3000円の黒字決算となりました。

また、特別会計はすべての会計でそれぞれ黒字決算となりました。

事業会計決算

病院事業

医療では、診療所を含めた延べ患者数は減少しましたが、急性期の一般病棟患者が増加し、医療収益自体は増額となりました。

一方、医療費用は材料費が減額となりましたが、給与費など経費が増額となったため、医療外収益及び医療外費用を加えた決算では4158万7395円の赤字となりました。

国民宿舎事業

大雨による影響等で宿泊利用者は対前年度比1167人減の1万8673人、休憩利用者は対前年度比841人減の1万8850人とそれぞれ減少し、営業収益は前年度比467万7247円減の1億7463万1213円となりました。

一方、営業費用は修繕費、燃料費、委託料などが増加し、前年度比904万4180円増の2億535万4521円となりました。

それらの結果、営業外収支を含めた決算では1326万8161円の赤字となりました。

決算審査報告

各会計とも決算書及び付属書類は関係法令に基づいて作成されており、財務処理も適正になされ、決算は正当であるとの報告がありました。

平成30年度一般会計決算

●主な質疑●

Q 広域市町村圏組合負担金（上水道費）（2億4711万5000円）の内訳は。

A 負担金として広域化水道料金差額補助金、簡易水道不採算経費補助金、簡易水道償還利息補助金、派遣職員の児童手当補助金です。

水道事業出資金として生活基盤設備耐震化事業に係る出資金、広域化事業費、簡易水道償還元金出資金です。

Q 国民健康保険制度改正対策事業費（4000万円）が平成30年度予算と比べると約3500万円減額（執行が少な

い）となっているが、理由は。

A 国からの財政支援（全国で約3400億円）があり、それに基づく納付金額の算定結果と平成29年度からの繰越金があったためです。

Q 山村留子支援事業費（420万円）の内訳は。

A NPO法人秩父盆地野球振興会に活動費補助金を出しています。

Q 義務教育支援事業費（4618万5180円）の内訳は。

A 小学生が557人で教材費は383万5892円、給食費は2280万9720円、

中学生が285人で教材費は342万7915円、給食費は1458万9971円、特別支援学校生が3人で教材費

は1万4536円、給食費は7万4146円です。

Q 新規就農者等育成事業費の農業用施設工事請負費（178万2016円）と補助金（583万6000円）の内容は。

A 工事請負費は研修用ハウス1棟を建設しました。

補助金は新規就農者規模拡大の機械器具、ハウスの資材等の補助金です。

Q 青年就農給付金事業費補助金（600万円）の内容は。

A 国庫補助として経営開始型の農業を始めた方4名が対象で1人当たり150万円の補助を出しています。

Q 産地パワーアップ事業費（1億89万6000円）の内容は。

A 国庫補助として合計9名の方に補助金を出しています。内訳は鉄骨ハウス7棟、パイプハウス2棟です。総面積9654㎡です。

Q 有害鳥獣駆除実施費について成果は。

A 平成30年度捕獲数はサルが5頭、ニホンジカが385頭、イノシシが98頭、タヌキが41頭、ハクビシンが36頭、アライグマが26頭、カラス6羽、ツキノワグマが4頭です。

【討論】（要約）

【原案に反対】

7番 出浦 正夫

平成30年度の一般・特別会計には重要な中身が沢山あると承知していますが、水道の広域化の問題（水道事業出資金、秩父広域市町村圏組合水道事業経営審議会での水道料金改定の論議方法）と国民健康保険特別会計への一般会計からの繰出金の減少等の理由により反対します。

【原案に反対】

9番 岩田 和幸

水道事業に関して、広域市町村圏組合負担金を出せるのであれば広域統合しなくてもやっていけたのではないかと。また、新庁舎の基本構想等の進め方や有害鳥獣駆除対策のやり方に問題があるため反対します。

一般会計決算は起立採決の結果、賛成多数で原案のとおり認定しました。

各特別会計決算及び各事業会計決算は、全会一致で、それぞれ原案のとおり認定しました。

条例新設

・小鹿野町森林環境譲与税基金条例
森林整備及びその促進に資するため、森林環境譲与税を財源とした基金を設置するためのものです。

主な質疑

Q 基金の総額と使用可能な状況とは。

A 令和元年度は県の試算によると957万1000円、令和15年度で満額になり3200万円程度です。森林整備や人材育成、木育等の啓発事業に使用可能です。

全会一致で原案のとおり可決しました。

・小鹿野町立幼保連携型認定こども園条例

幼児教育及び保育の更なる充実を図るため、基盤施設として幼保連携型認定こども園を設置するためのものです。

主な質疑

Q 教育としての幼稚園、保育としての保育所があり、目的の違うものを一つにするのは難しい。なぜ一つにしないではないのか。

A 理由としては少子化の進行、保育ニーズの多様化があり、今後ますます幼稚園教育、保育は難しい現状にあります。

また、教育と保育の調整をとるのが難しいということがありますが、将来の在り方について行政と保護者で検討した結果がこのような形になりましたので、一所懸命に取り組んでいきます。

Q 幼稚園の子どもと保育所の子どもは通園形態が異なるが一緒になっても異なるのか。

A ご指摘のとおり送迎の対応も異なります。

保育は一日お預かりすることから、保護者が送迎を行い、保護者から園児の状況を教職員に直接伝えてもらいます。

幼稚園は半日お預かりすることから、バスの添乗員を通じて園児の状況を教職員に伝えます。

そのため今まで通り区分して対応します。

【討論】(要約)

【原案に反対】

7番 出浦 正夫

本来であれば保育園は保育園、幼稚園は幼稚園の法に基づいた取組を進めるべきです。

そもそも目的の違うものを一つの園で行うのは困難があるのは明らかです。子どもの生活時間（退園時間や夏休み）等異なります。

子どもが減ったからといって統合して一つにするのではなく、子どもが減っているが、全力で子育て支援をするから頑張ってくださいとするのが行政のあるべき姿だと思いますので反対します。

【原案に賛成】

10番 加藤 喜一

小鹿野町では前町長の時代から幼保一体型を目指してきました。

教職員も保育士と幼稚園の教諭の免許を併せ持つ人が大勢いるので問題ないと思います。

また、子どもは小さいけれども、親の立場や生活スタイルを理解しない子育てしているわけではありません。

また、小鹿野町の子どもが一堂に会して、幼い時から仲間になれるという認識です。少子化の中で小

鹿野町の子どもの一体感を育ててもらい、町に残れる子ども、町を誇りに思える子どもを増やしてやりたいので賛成します。

【原案に反対】

9番 岩田 和幸

幼保連携型認定こども園の設置により、両神地区の保育園がなくなるのが反対の一番の理由です。両神地区の衰退が心配されます。

高校や大学などは遠くへ通学しても良いが、小さいときは近くでみるのが一番良いし、そう思う若い夫婦も当然いるはずです。両神地区に保育施設が必要だと考えますので反対します。

【原案に賛成】

4番 齋藤 維

私は、幼稚園・保育園双方の先生方が真剣に子ども達の事を考え、認定こども園を作り上げていく話合いの経過を一年間見てきました。

まだまだ話し合いは足りないと思いますし、それぞれ違う時間帯で過ごす子ども達が同じ発達の保障をされていくのは困難なことだと思います。

教職員の相当の努力が必要ですが、その困難を乗り越えた後に当町にとって素晴らしい幼児教育環境が形成されると思いますので賛成します。

起立採決の結果、賛成多数で原案のとおり可決しました。

条例改正

・小鹿野町保育所条例の一部を改正する条例

幼保連携型認定こども園の開設に伴い改正するものです。

小鹿野町立両神保育所を廃止し、小鹿野町立小鹿野保育所の名称を小鹿野町立おがの保育所へ変更するとともに収容定員、開所時間を変更するものです。

【討論】

(要約)

【原案に反対】

7番 出浦 正夫

本条例が可決されると両神から保育園が消えます。これは地域の崩壊に拍車をかけることになりますので反対します。

【原案に賛成】

10番 加藤 喜一

今までは開所時間が土曜日は午後0時30分までとされてきましたが、今後は土曜日も平日と同様に午後6時30分まで延長ができ、保護者の皆さんのことを鑑みて賛成します。

【原案に反対】

9番 岩田 和幸

町村合併の時から統合に反対しています。中学校、幼稚園が統合され、今後は小学校の統合も児童数の減少から時間の問題というのは理解しています。

しかし、今回の条例改正によって両神地区がますます衰退するものと予想されますので反対します。

起立採決の結果、賛成多数で原案のとおり可決しました。

・小鹿野町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例
消費税法の一部改正に伴い改正するものです。

●主な質疑●

Q 手数料自体は下がっているが、その理由は。

A 現行の条例は消費税内税の金額で設定されていましたが、今回消費税外税の金額で設定し、割切れない数円の端数を削除しました。

【討論】

(要約)

【原案に反対】

7番 出浦 正夫

本案は消費税が8%から10%に対応する値上げの改正です。庶民の暮らしは大変苦しい状況にあり、元々消費税の値上げは反対という立場ですので反対します。

【原案に賛成】

9番 岩田 和幸

消費税そのものに反対で今回の値上げにも反対ですので本案も反対します。

【原案に賛成】

12番 強矢 好光

手数料の値上げの話もありました。しかし、消費税が上がるので手数料自体は数円単位ではあるけれども、執行部が今までの元値より下げて計画したということですので賛成します。

起立採決の結果、賛成多数で原案のとおり可決しました。

補正予算

・令和元年度小鹿野町一般会計補正予算(第2号)

主なものとしては、国庫委託金を財源とした参議院議員補欠選挙執行費と国庫支出金を財源とした風疹の抗体検査、予防接種費を追加するものです。

また、前年度繰越金を財源として、新庁舎建設に係る用地測量及び工事設計費や令和2年度からの認定こども園開園に伴い、閉園となる幼稚園、保育所に係る事業費などを追加するものです。



●主な質疑●

Q 庁舎整備事業費が2年間の継続事業で総額7000万円、今年度が2100万円、来年度が4900万円となっているが、この比率はどのような形になっているか。

A 庁舎整備事業費として設計費総額で7000万円です。これを業者と委託契約した場合、3割分（今年度分として計上する2100万円）を前払金として払うことになります。

全会一致で原案のとおり可決しました。

人事案件

・小鹿野町教育委員会委員の任命について

岡神小森 中山 忍 氏

全会一致で原案のとおり同意しました。

・人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて

飯田 柴崎 了 氏
藤倉 新井 保子 氏

全会一致で原案のとおり適任者と認めました。

意見書の提出

議員発議による「新たな過疎対策法の制定に関する意見書案」が提出され、全会一致で可決しました。

提出者 眞下 登

賛成者 高橋謙治 高橋耕也 出浦正夫 加藤喜一

可決された意見書は、内閣総理大臣ほか関係行政庁に提出しました。

新たな過疎対策法の制定に関する意見書

過疎対策については、昭和45年に「過疎地域対策緊急措置法」制定以来、4次にわたる特別措置法の制定により、総合的な過疎対策事業が実施され、過疎地域における生活環境の整備や産業の振興など一定の成果を上げたところである。

しかしながら、依然として多くの集落が消滅の危機に瀕し、また、森林管理の放置による森林の荒廃や度重なる豪雨・地震等の発生による林地崩壊、河川の氾濫など、極めて深刻な状況に直面している。

過疎地域は我が国の国土の過半を占め、豊かな自然や歴史・文化を有するふるさとの地域であり、都市に対する食料・水・酸素・エネルギーの供給、国土・自然環境の保全、いやしの場の提供、災害の防止、森林による地球温暖化の防止などに多大な貢献をしている。

過疎地域が果たしているこのような多面的・公益的機能は国民共有の財産であり、それは過疎地域の住民によって支えられてきたものである。

現行の「過疎地域自立促進特別措置法」は令和3年3月末をもって失効することとなるが、過疎地域が果たしている多面的・公益的機能を今後も維持していくためには、引き続き、過疎地域に対して総合的かつ積極的な支援を充実・強化し、住民の暮らしを支えていく政策を確立・推進することが重要である。

過疎地域が、そこに住み続ける住民にとって安心・安全に暮らせる地域として健全に維持されることは、同時に、都市をも含めた国民全体の安心・安全な生活に寄与するものであることから、引き続き総合的な過疎対策を充実・強化させることが必要である。

よって、新たな過疎対策法の制定を強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和元年9月9日

埼玉県秩父郡小鹿野町議会

議会全員協議会

○8月22日

・役場庁舎建設基本構想（案）について

・認定こども園について

・幼児教育費の無償化について

それぞれの議題について、執行部より現在の状況や今後の予定等について説明がありました。

○9月24日

・新たな役場庁舎に係る議場等の機能について

議員全員で構成する議場等の機能を検討する内部委員会を立ち上げました。

委員長が猪野副議長、副委員長が眞下総務常任委員長となり、今後検討していくこととなりました。

総務常任委員会

○9月3日

・新たな過疎対策法の制定に関する意見書案について

総務常任委員会として発議する意見書案について審議しました。

予算・条例等の審議結果

(○は賛成、●は反対した議員)

議 案 名	笠原義行	高橋耕也	高橋謙治	齋藤 維	山中豊彦	猪野武雄	出浦正夫	眞下 登	岩田和幸	加藤喜一	黒澤光司	強矢好光
小鹿野町森林環境譲与税基金条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○
小鹿野町立幼保連携型認定こども園条例	○	○	○	○	●	○	●	○	●	○	—	○
小鹿野町保育所条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	●	○	●	○	●	○	—	○
小鹿野町印鑑条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○
小鹿野町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担額等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○
小鹿野町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○
小鹿野町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	●	○	●	○	—	○
小鹿野町浄化槽設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	●	○	●	○	—	○
小鹿野町病院事業使用料及び手数料条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	●	○	●	○	—	○
小鹿野町消防団条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○
令和元年度小鹿野町一般会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○
令和元年度小鹿野町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○
令和元年度小鹿野町介護保険特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○
小鹿野町教育委員会委員の任命について（両神小森 中山 忍氏）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○
人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて（飯田 柴崎 了氏）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○
人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて（藤倉 新井 保子氏）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○
平成30年度小鹿野町一般会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	●	●	●	○	●	○	—	○
平成30年度小鹿野町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○
平成30年度小鹿野町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○
平成30年度小鹿野町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○
平成30年度小鹿野町浄化槽設置管理等特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○
平成30年度国民健康保険町立小鹿野中央病院事業会計利益の処分及び決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○
平成30年度小鹿野町営国民宿舎事業会計利益の処分及び決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○
新たな過疎対策法の制定に関する意見書案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○

※ 黒澤光司議員は議長のため採決に加わっていません。

※ 条例の内容については町ホームページの「小鹿野町例規集」でご確認いただけます。

一般質問一覧（質問順）

質問議員	質 問 事 項	質問議員	質 問 事 項
猪野 武雄	・役場庁舎の整備計画に関して ・少子化と町の活性化に関して ・町の創生を担う重要な幹線道路の整備に関して ・豪雨と避難に関して ・交通弱者対策に関して ・子どもの貧困に関して ・有害鳥獣対策に関して	齋藤 維	・公共交通について ・行政運営について ・通学費助成について
		出浦 正夫	・国民健康保険について ・障害者福祉について ・産業、観光振興について ・教育、保育について ・役場庁舎について
岩田 和幸	・水道について ・国道140号秩父バイパス延伸について ・みどりの村について ・新庁舎について ※質問者の希望により掲載していません	笠原 義行	・町民の健康、福祉について ・地域活性化について ・子どもの遊び場について ・新庁舎整備計画について ・移住、定住促進について

○本議会の質問者は5人で、その内4人の原稿を掲載しています。

○持ち時間内で質問した事項のみ掲載しています。

町政に対する一般質問

9月
定例会



長尾根トンネルの 早期事業化を全力で！

猪野 武雄 議員

【質】 長尾根トンネルの位置

が、千束峠付近から東側に大きく移動された変更案を町が拒んだのにも拘わらず、県に要望書が提出されたと聞く。これは、功を焦る秩父市側による拙速・抜け駆け的な行為であり大変遺憾だ。本トンネルの整備に関し町長の見解を問う。

【答】 町の悲願である長尾根トンネルは、当町松井田から秩父市田村を経て秩父公園橋に接続するルート以外にない。改めて大野新知事に要望すると共に、地元代議士・県議や秩父道議連等と歩調を合わせ、しっかりと要望して参りたい。

【質】 マイカーや運転免許を

持たない高齢者等が、自宅前で乗り降りできる

「ドアツードア」での移動手段の確保策の検討状況は…。

【答】 公共交通空白地有償運送による京丹後市の「ささえ合い交通」やタクシー利用券の交付など検討し、来年度予算編成に反映できるようにしっかりと進めて参りたい。

【質】 県立高校の再編計画に

よれば、秩父4校中、小鹿野と皆野が存続の危機にある。町を挙げて小鹿野高校を全力で支援すべきだが…。

【答】 町では、山村留学への支援、小鹿野未来塾やイベント等における鹿高生による「竹あかりプロジェクト」などの連携に取組み中である。今後、鹿高の魅力化アップ等のため、連携・支援していく。

【質】

猟友会の頑張りで、イノシシやシカは相当の捕獲成果が得られている。しかし、捕獲困難なカラスやサル対策は…。また、クマの目撃情報が頻繁にあるが…。

【答】 カラスの捕獲では、新



暮らしやすい 交通政策について

齋藤 維 議員

【質】

交通弱者の方々が暮らしやすくなるような利便性の高い地域交通の整備が必要です。今後どのように総合的に交通政策全般を進めていけるのかお伺いします。

【答】 現在、関係各課により

地域交通対策全体の見直しを検討しているところ。具体的には、民営路線バスと町営バスの最適化とともに、町営バスの民営化の検討。高齢者の方など交通弱者対策としては、タクシー料金の補助や交通空白地有償運

たに専用の捕獲機を設置したが、未だ捕獲できていない。サルは、捕獲した雌ザルに発信機を付けて放ち、行動範囲を把握の上、捕獲おりを設置する。クマの捕獲も進める。

【質】 福祉有償運送（ハッピー

パートナー）から交通空白地有償運送へ移行して、利用者の範囲を町民全体

【答】

へ拡大していく検討の進捗状況についてお伺いします。

【質】

町外に通学している皆さんには公共交通機関以外の交通手段を利用されている方々があり、そのような方々への通学費助成についてはどのようにお考えかお伺いします。

【答】

現在のところ考えておりませんが、この事業は始ったばかりです。様々な意見やご要望を伺う中で、適切な子育て支援策等を検討してまいりたいと考えています。



国保税の高騰を防ごう 子どもの均等割負担免除を

出浦 正夫 議員

質 国は、各自治体が自主的に

に行っている一般会計から国保財政への繰り入れを赤字と決めつけ、繰り入れを解消するよう圧力をかけています。国民健康保険制度は社会保障制度の一つであり、町は一般会計から必要額の繰り入れを継続し、国保税の高騰を防ぐべきと考えますが対応を伺います。

答 町では、これまで国保の医療費に対する財源不足分を一般会計からの繰り入れにより補填することで運営してまいりました。今後につきましては、県から示される国保事業納付金の額により繰り入れ額を調整していく必要があります。繰り入れについては、直ちに解消していくことは困難であり、継続していく必要があると考えております。

質 子どもの均等割負担について、本年度より19才

未満の子ともが3人以上いる場合、第3子以降の子どもの均等割を減免する多子世帯減免制度が実現しました。しかし、現行制度では、上の子どもが19才以上になると第3子であっても対象外となります。無条件に第3子以降を減免する制度にするべきと考えますがいかがですか。

答 ご提案をいただきましたので検討してまいりたいと考えます。

質 子どもの均等割負担は他の保険制度にはない仕組みです。すべての子どもの均等割負担を減免すべきですが、すべての子どもを減免したら金額的にはいくら必要ですか。

答 対象者は286人で471万9000円となります。

質 町長、500万円に満たない金額です。ぜひ実現できませんか。

答 子どもの支援は非常に大事だと思います。全員の



次代へ歩む 新小鹿野町の創造

笠原 義行 議員

質 町民の健康、福祉についてご家庭が抱える悩みに

対して、各課にて相談窓口を設けているとは思いますが、引きこもりや、家庭内暴力等の相談件数はどれくらいですか。またその対応状況をお伺いいたします。

答 引きこもりに関する相談件数は明確に集計しておりませんが、各課への聞き取りによる調査では、平成30年度で4件、家庭内暴力については、虐待事案として区分している件数は、平成30年度で児童虐待が11件、高齢者虐待が1件、障がい者虐待が2件となっております。

子どもたちの均等割免除、先進自治体もあるのでよく調査、研究してまいります。

質 地域活性化について

対応方法については、相談会開催のほか、各課において随時相談に応じております。理由が複合したものなど、内容が多岐にわたることから、関係部署が連携して事案の解決を図っております。

質 地域活性化のため、各地域、団体によるお祭り、イベント等が数多く開催されておりますが、少子高齢化や過疎などの影響により、運営スタッフの減少、また開催運営費等の問題など継続が困難になってきているというお話しも耳にしますが、試行錯誤し何とか継続してい

答 地域住民の方のご努力により、様々なお祭りやイベントが年間を通して多く開催されております。ご指摘の通り、地域によっ

ては、高齢化や人口減少により、お祭り等の存続が難しくなっているとのことでもあります。私も当事者意識を持ち、積極的に関わっていかねばと常々感じています。今後も住民が主体となって取り組むイベント等に関して、財源の補助や人的サポートを積極的に行い、町の活性化を図ってまいりたいと思います。



■議長交際費の公開■ 令和元年7月～令和元年9月

月 日	会 議 名 等	金 額	月 日	会 議 名 等	金 額
7月11日	原水爆禁止国民平和進行賛助金	3,000	9月22日	ユーアイフェスティバル会費	3,000
8月14日	秩父音頭まつり会費	3,000			
8月15日	長瀬船玉まつり会費	3,000		小 計	15,000
8月16日	赤平川納涼花火大会費	3,000		令和元年度 支出合計	97,000



◆両神保育所運動会◆ ＝10月5日＝

来年度、幼稚園と保育所は認定こども園へ移行するため、両神保育所としては最後の運動会でした。



◆奈倉妙見宮秋祭り◆ ＝10月5日＝

奈倉妙見宮秋祭りでは子供歌舞伎や女歌舞伎などが上演され、多くのお客さんを楽しませていました。

議会の傍聴をしませんか！

町の議会は、年4回の定例会（3月・6月・9月・12月）と、必要に応じて臨時会が開かれます。

町政の動きを知るためにも、気軽に傍聴してください。

次回定例会は、12月上旬開催予定です。

※小鹿野文化センター・両神庁舎・両神ふるさと総合会館のテレビモニター中継もご利用ください。

議会会議録が閲覧できます！

小鹿野町議会ホームページで、平成21年以降の議会会議録が閲覧できます。ぜひ、ご利用ください。

右のコードまたは「小鹿野町議会」で検索ください。



編集後記

令和元年10月12日、関東を直撃した台風19号の影響により、数十年に一度の大雨が記録され、当町においても日を追うごとに大小さまざまな被害が明らかになりました。被害に遭われましたすべての皆様に対し心よりお見舞い申し上げます。

今夏も全国各地で台風の被害が報告され自然災害の脅威、また災害への対応についての報道等が多くありました。いつ、どこで、何が起こるかかわからない災害に対して、改めてしっかりとした準備を心がけていかなければと感じます。

当議会としても、町民の皆様へ寄り添い、安心、安全で生活できる小鹿野町のため、活動してまいります。

今後とも、町政、議会に関心を持っていただき、皆様方の貴重なご意見を賜りたくお願い申し上げます。

▼議会だより編集委員会

委員長 眞下 登
副委員長 笠原 義行
委員 高橋 謙治
〃 山中 豊彦
〃 黒澤 光司
〃 猪野 武雄